

6月 としょかんカレンダー (中央図書館)

日	月	火	水	木	金	土
						1 おはなしかい
2	3 やすみ	4	5 おはなしかい	6	7	8 えいがかい
9	10 やすみ	11	12	13	14	15
16 えいがかい	17 やすみ	18	19 おはなしかい	20	21	22 おはなしかい
23	24 やすみ	25	26	27	28	29
30						

☆こどもえいがかい

2F 視聴覚ホール

6月8日(土) 午後2時～

「恐竜超伝説 劇場版ダーウィンが来た！」

6月16日(日) 午後2時～

「アルプスの少女ハイジ」

※上映する作品は変更になる場合がございます

☆おはなしかい 乳幼児向け

1F おはなしのへや

6月5日・19日(水) 午前11時～

☆おはなしかい 幼児から小学生向け

6月1日(土) 午後2時～

6月22日(土) 午後2時～

※申し込み不要

とびらしんばん

2024ねん 6がつ



みず・あめ



ふじみしりつちゅうおうとしょかん

「あめがふるときちょうちょうはどこへ」
 メイ・ゲアリック／文 レナード・ワイズガード／絵 岡部 うた子／訳
 金の星社



ポツン、ポツ、ポツ あめがふってきたら、みなさんはかさをさしますね。みつばちやうさぎやあひるはどうするのでしょうか。やさしいはねをしたちょうちょうはどこへいくのでしょうか。ふしぎだな…と、すなおにかんじるこどものきもちで、すてきなえとことばであらわしたえほんのせかいへいってみませんか。

(対象：幼児～)

「みずちゃぽん」 新井 洋行／さく 童心社



表紙にたくさんのしずく。笑ったり口をあけたり、いろんな表情をしていてページをめくる前から楽しい絵本です。水を色々な音や形であらわして、子どもと一緒に水のいきおいや清涼感が味わえる新感覚絵本です。同じシリーズで「かぜびゅんびゅん」「ひぼうぼう」「つちどすん」があります。

(対象：乳児～)

「あめほる本屋」 日向 理恵子／作 吉田 尚令／絵 童心社



雨のなか飛びこんだ図書館で、迷子になってしまったルウ子。「雨ふる本屋」と書かれた看板を見つけ、たどり着いたのは、ドードー鳥の店主が迎え、妖精たちが飛び交い、部屋の中に雨が降る、不思議な古本屋でした。人間が来るのを待っていた、という彼らの願いとは…？

(対象：小学校 中学年～)

「みずはうたいます」 まど みちお／詩 nakaban／絵 理論社



ひとしずくの水は、まるで透明な音符。それは、あつまり、ながれ、天にのぼり、地にふって、うたいながら、世界をめぐる。

童謡「ぞうさん」で有名なまど・みちおさんの詩にながれるような絵がぴったりあっていて、声にだして読みたくなるすてきな詩の絵本です。

(対象：小学校低学年～)

「すいどう」 百木 一朗／作 福音館書店



じゃぐちをあけると、水が出てきます。その水はどこからきてどこへながれていくのでしょうか。山にふった雨が川となり、川からじょうすいじょうにいて、すいどうかんをとおって、みんなのおうちにおくられてきます。水道をとおして、わたしたちのくらしのなかで使われている水の流れをまなぶことができます。

(対象：幼児～)

「みずはどこからやってくる？水を育てる菌と土と森」 浜田 久美子／著 講談社



あまくておいしいジュース「なっちゃん」を作っているサントリーが、きれいな水のために森づくりをしている。森の土が水をきれいにし、生き物を豊かにし、土砂災害を起こしにくくするという。私たちの生活に欠かせない水を得るために、必要なのは何かを伝える本。

(対象：小学校 中学年～)